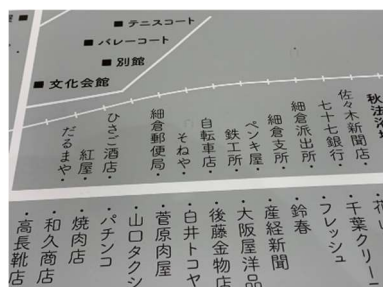


栗 峰

No.21
2026. 8. 2



栗原市（旧鶯沢町）細倉鉱山は9世紀に発見されたとあるが1778年に仙台藩に提出された文献に1573年以降に採掘がはじまったとされている。細倉小学校には、最盛期

で1000人を超える児童がおり、中学校は勿論、映画館も2軒、パチンコ屋から多くの商店が軒を連ねていた。映画「東京タワー～オカンとボクと、時々、オトン」の撮影場所として、「佐野住宅」が使用され、その後に当時を偲ぶ建物の殆どが姿を消して、現在に至る。上記の姿は、細倉マインパーク内の展示ジオラマ。

目 次

同窓会会長と校長の挨拶	2
東京支部の近況	3
対古高定期戦結果と応援団長挨拶	5
令和8年度総会当番幹事のあの頃	6
令和7年度会計決算、令和8年度会計予算	7
令和7年度卒業生同窓会学年幹事の紹介と生徒会長挨拶	8



母校への応援団

宮城県築館高等学校同窓会



会長

渡邊 一正

(高二十八回卒)

皆さんお変わりはないですか？それぞれにご健勝で活躍のことと存じます。今後とも、お体にご留意され、お過ごしくださいことをお祈り申し上げます。

さて、学校も新年度が始まり、学問、スポーツ等にそれぞれの目標に向かって毎日生徒諸君達も張り切って頑張っております。そんな中で、今や世界情勢は紛争が絶えず、日々多くの国民が犠牲になっております。その惨状を目のあたりにして、我が国の恵まれた環境に複雑な心境でいるのは私だけではないと思います。日本は優しい国家になり過ぎていないか自問自答している毎日であります。

全国的に少子化が進み、今後、地方はどうなるのか心配でなりません。それに加えて、高校の授業料無償化が始まり、地域の公立高校の存続が危ぶま

れております。我が母校も、他人ごとではありません。歴史と伝統の築館高等学校は、この栗原にとってなくてはならない財産であります。今後とも、尚一層、県内でも優秀な学校として残していけるように同窓生の皆さん、それぞれの立場で、我が母校の応援団として、これからも、物資面のご協力を心からお願い申し上げます。

明日を担う子供たちの明るい将来のため、そして、日本、この栗原を守るために力を貸してください。

それでは、また、お会いできる日を楽しみにしております。

「チーム築高」のその後



学校長

日黒幸治

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に様々な形で、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月に赴任して2年目を迎えております校長の目黒です。築館高校は、私にとって大変大きな存在で、教員としての基準を明確に作っ

てもらった学校でもあるし、長く教員をやってきた礎ともなっている経験値を与えてくれた学校でもあります。多くの生徒と歓喜・涙し、多くの保護者の方と共闘し、多くの同僚と素晴らしい時間を過ごした場所です。思い入れが強い築館高校をもっともっと活気があって、素敵な学校にすべく、頑張っていきたいので、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度の築館高校は、本当に楽しかったです。「かのサンド」の口ケで始まり、日々の教育活動に全力で取り組む生徒と全力で支える教職員に囲まれ、毎日がワクワクに満ちていた気がします。

「こんなことしたい」、「こんなことしませんか」誰となく、校長室に想いや企画を持ち込んできては、一緒に具体化への道筋を考える日々でした。

その温度感が伝わったのか、今年度の新生は156名となり、昨年よりも20人増えました。年々生徒数の減少が顕著になり、生徒集めが苦しい現状にあって、この数の生徒が集まってくれたのは、「築館高校に勢いがある」ということを示してく

れているのだと思います。

必勝を期して臨んだ定期戦は、6勝9敗で5連敗を喫してしまいましたが、「チーム築高」は、更に一層結束を強め、令和8年度も、走り続けておりますので、期待して見守っていただければ幸いです。

最後になりますが、同窓会の皆様方のみますのでご健勝をご祈念申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。



東京支部の活動えとせとら

築館高等学校同窓会東京支部

支部長

三好 加津子

(高二十四回生)



同窓生の皆さん、こんにちは。お元気で過ごしてはいかがでしょうか？

私は、この4月に自転車で転倒してしまい、頭部外傷で救急搬送されてしまいました。幸い頭部CTでは異常なく、傷は5針の縫合となりましたが、1週間後には、無事抜糸となり、順調に回復しました。

ヘルメットをかぶっていたら、大事に至らなかったと反省しかりです。自転車のルールが厳しくなりましたが、ヘルメット着用は、罰則の対象にはならないことが、気の緩みになっていました。安全対策には、とても重要なことだと改めて思います。

同窓生の皆さんには、是非ヘルメットの着用をお勧めします。リスクを最小限に防止しましょう。

東京支部のこの間の取組みをご紹介します。2月に会報「栗峰43号」

を発刊、4月に役員会15人の参加で、7月総会の議案を確認しました。

また、4月に栗原市4高校同窓会企画の「新大久保ネパール探索ツアー」に19人が参加し、ネパール料理とお酒を楽しみました。

6月には、「一迫ゆり園・ふるさとツアー」を有志による参加ですが、待ち遠しい限りです。

本部の皆さんとの交流会も、企画されていて、更に楽しみです。やはり、参加したくなるような楽しい企画はとても大事で、事務局メンバーも一緒に楽しむことが次の企画へと、また繋がっていくように思います。

これからも本部の皆さんとの交流を大切にしながら、東京支部の運営をしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



ふるさとツアー雑感

築館高等学校同窓会東京支部

多田 眞一 (高二十三回生)

それは4月、役員会での安藤さんの「故郷の一迫金田の祭り」とゆり園よ！みんなで行きましょう」で始まった。手には、コ・シエル(栗原市観光物産協会広報誌)が…企画せねば。でも、1人では無理…そこで、故郷の門傳英慈さん(33回生)と佐藤敏弘さん(36回生)にSOS。難関は、故郷を巡る足。バス？タクシー？どれも、物価高騰と運転手不足で、旅程にマッチしない。検討の結果、10人乗りレンタカーに決定。でも、運転手が…ここでもまた、敏弘さんが救いの神に！ありがとう。

かくして、安藤さん、三好さん、佐藤さん、阿部さん、千葉さん、私を乗せて6月20日13時40分 新幹線の東京駅を出発、築館高校→一迫ゆり園→あやめ園→岩ヶ崎の文字屋→ハイルザーム栗駒が、コース初日。小雨に濡れた花は鮮やかに、人出は無く、ガイドを独占し、双方ゆったり、思いあふれるお話を聞きました。そして文字屋へ。地元



皆さんと19人での賑やかな集い。

同窓会本部、渡邊会長の乾杯！美味しい料理と地酒、会話が尽きません。サククスとギターの生演奏に感動！そして、再びあつつい話が、「ホッケーの未来を作りたい。中学校部活の地域移行を応援して欲しい。」故郷は、U15からオリンピック選手まで、74人もの日本代表選手を生み出していた。厳しい環境の中、若者たちの未来を守る姿に共感。楽しい時間は、瞬間に過ぎ、温泉で疲れを癒したのです。

最終日、宿の朝食がGood！嬉しいコーヒーのおかわり自由。お腹を満たし、いざ、豪雨に負けじと栗駒山を下山。増水し、濁流の川を横目に緊張して、私がハンドルを…佐藤いづみ（36回生）さんが待つ瀬峰飛行場と黒澤さんの鳥瞰図原画展の会場を巡りました。これまた、同窓生のパワーと絆を強く感じる2ヶ所でした。

同窓生をはじめ、故郷を守る方々の熱い思いに接し、心もお腹も大満足の2日間でした。大変お世話になりました。感謝です！また、来まあいーす！ おしまい

築館高ホッケー部の快進撃

令和7年10月23日から青森県三沢市を会場に全国大会への出場権をかけて、東北地区予選が行われ、男女ともに第3位に入り、男子は11年ぶり4回目、女子は3年ぶり14回目の出場を果たしました。

12月19日から、岐阜県各務原市において、第57回全国高等学校選抜ホッケー大会が開催され、男女ともに全国大会に出場するのは、2011年岩手インターハイ以来14年ぶりとなりました。

全国選抜大会の1回戦は、男子が栃木県立今市高等学校、女子が北海学園札幌高等学校との対戦でした。

しかし、男女とも勝利にあと一步及ばず、全国場で勝利を挙げることができませんでした。

今大会の経験を「次への糧」といいう思いを強く持ち、帰郷しました。

令和8年6月12日から、栗原市一迫において、近畿インターハイの出場権をかけた東北高等学校ホッケー選手権大会が開催されました。

女子は、福島県立修明高等学校にあ



と一歩のところまで迫りましたが、1回戦敗退の結果となりました。（秋田県を除く東北5県6校参加）

一方男子（秋田・福島県を除く東北4県6校参加）は、青森県立三沢高等学校、山形県立置賜農業高等学校を破り、2013年以来12大会ぶり11回目のインターハイの出場権を勝ち取ることができました。8月7日から行われる全国大会では、チーム一丸となって勝利をつかみ、皆様に良いご報告をしたいと思います。

今後とも、ホッケー部の活動にご理解とご協力をお願いいたします。



2026 紫鷲定期戦

令和 8 年度定期戦結果

結果		築高	古高
野球	○	12	10
サッカー	●	0	2
バスケットボール (男子)	●	38	48
バスケットボール (女子)	●	43	70
バレーボール (男子)	●	0	2
バレーボール (女子)	○	1	2
卓球 (男子)	●	0	5
卓球 (女子)	●	2	2
剣道	●	2	6
ソフトテニス (男子)	○	3	2
ソフトテニス (女子)	●	3	2
バドミントン (男子)	○	5	0
バドミントン (女子)	○	5	5
綱引き (男子)	●	2	0
綱引き (女子)	○	2	0
総 合		6	9



毎年4月末に兄弟校である宮城県古川高等学校との伝統行事である古高定期戦は、北部地区総体（5月半ば）・県総体（6月初め）・東北総体（7月）・インターハイ（8月）の前哨戦として行なっている。この行事に向け、新入生は朝昼放課後の応援練習に励み校歌、他数曲の応援歌を覚え築高生の自覚と誇りを身につける。本校入学の登竜門であり、最大イベントでもある。競技種目は15種目で行われ、勝ち越した方が総合優勝となる。競技以外にも両校生徒会長による舌戦や両校応援団による応援合戦なども見物である。ちなみに応援団長は、生徒会役員の中から選ばれ、伝統のあるエールをきる。

私は、応援団長をやるために築館高校に入学しました。中学三年生の頃から応援団長に憧れており、高校の代表として先導していく姿に心を打たれました。夢を叶えることができ、支えてくださった方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年の応援練習は、例年よりも短い期間での実施となりました。ですが、その中で築高生の心が一つになっていく様子を感じることができました。限られた時間の中で、真剣に取り組む姿から、築館高校の団結力の強さを改めて実感しました。

そして迎えた定期戦では、私たちは勝利を目指して、全力で挑みました。しかし、結果は悔しい敗戦となりました。応援団長として、勝利に導くことができなかった悔しさは、今でも心に残っています。それでも、最後まで諦めることなく声を出し続けてくれた築高生の姿は、とても頼もしく、誇らしく感じました。

定期戦を通して私は、築高生の成長を強く感じることができました。一人ひとりが学校の代表としての自覚を持ち、仲間を支えながら行動する姿に大きな感動を覚えました。私自身も、多くの仲間と協力しながら活動する中で、責任感や行動力を身につけ、人として大きく成長することができたと思います。

結果だけを見れば、悔しさの残る定期戦でしたが、仲間とともに目標に向かって努力し続けた日々は、かけがえない思い出です。そして、全員が同じ方向を向いて全力を尽くしたあの瞬間は、二度と味わうことのできないような、大きな達成感に包まれました。この経験を胸に刻み、これからも築館高校で学んだことに誇りを持って歩んでいきたいと思っています。



応援団長に憧れて

応援団長 佐藤 明翔

令和8年度総会



当番幹事のあの頃



令和 7 年度同窓会本部会計・総会決算

令和 7 年度 宮城県築館高等学校同窓会・本会計決算書

1 収入総額 953,994 円
2 支出総額 905,147 円
3 残 額 48,847 円

1 収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較 増 減	摘 要
1 会 費	589,100	645,600		1,100 円× 451名 (本校) 1,100 円× 29名 (キャンパス校) 2,000 円× 61名 (卒業生) △4,400 円 (学務異動)
2 繰越金	308,394	308,394		前年度繰越
3 雑収入	506	0		506
合 計	898,000	953,994	55,994	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較 増 減	摘 要
1 運営費	285,000	228,527		56,473
(1) 事務費	45,000	21,293		23,707 費状用紙・額縁購入
(2) 通信費	160,000	153,850		6,150 資料等郵送料
(3) 旅費	80,000	53,384		26,616 東京支部総会参加旅費
2 会合費	190,000	146,280		43,720
(1) 役員会費	10,000	0		10,000
(2) 支部会費	50,000	20,000		30,000 東京支部総会参加費
(3) 入会式費	130,000	126,280		3,720 卒業生入会記念品代
3 生徒支援費	160,000	225,000	65,000	活躍生徒への支援
4 広報費	90,000	54,560		35,440 会報印刷代
5 事業費	150,000	250,000	100,000	20周年記念講演謝礼、入試対策直前学習会費用
6 渉外費	2,000	0		2,000
7 諸費	11,000	780		10,220
(1) 慶弔費	10,000	780		9,220 弔電代
(2) 雑費	1,000	0		1,000
8 予備費	10,000	0		10,000
合 計	898,000	905,147	7,147	

3 差引残額

総収入額	総支出額	差引額	摘 要
953,994	905,147	48,847	

監 査 報 告 書

令和 7 年度宮城県築館高等学校同窓会会計について、帳票及び関係書類を監査した結果、正確に処理されていることを認めます。

令和 8 年 4 月 1 4 日

宮城県築館高等学校同窓会長 殿

監事 佐々木 嘉郎 印

監事 今野 祥子 印

令和 7 年度 宮城県築館高等学校同窓会・総会会計決算書

1 収入総額 790,100 円
2 支出総額 735,556 円
3 残 額 54,544 円

1 収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較 増 減	摘 要
1 会費	510,000	581,000	71,000	
(1) 前売券	360,000	369,000	9,000	3,000 円× 123 人
(2) 当日券	30,000	51,000	21,000	3,000 円× 17 人
(3) 協賛金	120,000	161,000	41,000	1,000 円× 161 人
2 繰越金	168,100	168,100		前年度繰越
3 雑収入	900	41,000	40,100	御祝儀
合 計	679,000	790,100	111,100	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較 増 減	摘 要
1 総会費	549,000	582,154	33,154	総会会場費・総会講師謝礼
2 通信運搬費	60,000	40,740		19,260 案内送付用郵送料
3 消耗品費	15,000	8,448		6,552 コルクボード代
4 印刷・広告費	45,000	104,214	59,214	ポスター・チケット、築高新聞印刷
5 予備費	10,000	0		10,000
合 計	679,000	735,556	56,556	

3 次年度繰越金

総収入額	総支出額	差引額	摘 要
790,100	735,556	54,544	

監 査 報 告 書

令和 7 年度宮城県築館高等学校同窓会（総会）会計について、通帳及び関係書類を監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和 8 年 4 月 1 4 日

宮城県築館高等学校同窓会長 殿

監事 佐々木 嘉郎 印

監事 今野 祥子 印

令和 8 年度同窓会本部会計・総会予算

令和 8 年度 宮城県築館高等学校同窓会・本会計予算書

1 収入総額 698,000 円
2 支出総額 698,000 円
3 残 額 0 円

1 収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	摘 要
1 会 費	648,900	589,100	59,800	1,100 円 × 452名 在校生 (本校) 1,100 円 × 47名 * (一迫商業学校) 2,000 円 × 50名 卒業生
2 繰越金	48,847	308,394	△ 259,547	前年度より繰越
3 雑収入	253	506	△ 253	雑入
合 計	698,000	898,000	△ 200,000	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	摘 要
1 運営費	200,000	285,000	△ 85,000	
(1) 事務費	20,000	45,000	△ 25,000	事務用品・封筒印刷代
(2) 通信費	120,000	160,000	△ 40,000	文書・資料送付代・会報送付代
(3) 旅費	60,000	80,000	△ 20,000	支部総会等参加旅費
2 会合費	152,000	190,000	△ 38,000	
(1) 役員会費	2,000	10,000	△ 8,000	会議費
(2) 支部会費	20,000	50,000	△ 30,000	支部総会参加費
(3) 入会式費	130,000	130,000	0	卒業生入会記念品
3 生徒支援費	130,000	160,000	△ 30,000	活躍生徒への支援
4 広報費	60,000	90,000	△ 30,000	会報印刷代
5 事業費	143,000	150,000	△ 7,000	高校入試対策直前学習会費用
6 渉外費	2,000	2,000	0	
7 諸費	6,000	11,000	△ 5,000	
(1) 慶弔費	5,000	10,000	△ 5,000	
(2) 雑費	1,000	1,000	0	
8 予備費	5,000	10,000	△ 5,000	
合 計	698,000	898,000	△ 200,000	

令和 8 年度 宮城県築館高等学校同窓会・総会会計予算書

1 収入総額 590,000 円
2 支出総額 590,000 円
3 残 額 0 円

1 収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	摘 要
1 会費	535,000	510,000	25,000	
(1) 前売券	360,000	360,000	0	3,000 円× 120 人
(2) 当日券	45,000	30,000	15,000	3,000 円× 15 人
(3) 協賛金	130,000	120,000	10,000	1,000 円× 130 人
2 繰越金	54,544	168,100	△ 113,556	前年度繰越し分
3 雑収入	456	900	△ 444	
合 計	590,000	679,000	△ 89,000	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	摘 要
1 総会費	500,000	549,000	△ 49,000	会場費・懇親会費等
2 通信運搬費	40,000	60,000	△ 20,000	実行委員会及び総会案内
3 消耗品費	5,000	15,000	△ 10,000	会議費用等
4 印刷・広告費	40,000	45,000	△ 5,000	ポスター・チケット印刷
5 予備費	5,000	10,000	△ 5,000	
合 計	590,000	679,000	△ 89,000	

令和7年度卒業 同窓会学年幹事の紹介



3年1組 中鉢 清盛

この度同窓会幹事になったので、精一杯頑張り、皆様とともに同窓会を盛り上げていきたく存じます。

3年1組 渡邊 知優

この度、同窓会幹事を務めます渡邊知優です。皆さんが楽しい時間を過ごせるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

3年2組 工藤 快太

この度、同窓会幹事を務めることになりました工藤快太です。皆さんが笑顔で再会できる場を作るように頑張ります。よろしくお願いします。

3年2組 千葉 麻央

この度同窓会幹事を務めることになりました千葉麻央です。不慣れな点もあるかと思いますが、最後までどうぞよろしく願います！

3年3組 三塚 悠麻

このたび同窓会幹事になりました三塚です。同窓会が皆さんにとってより良いものになるよう精一杯頑張ります。

3年3組 二上 優空

この度、同窓会幹事を務めます二上優空です。皆さんにとって楽しい時間になるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしく願います！

3年4組 三浦 陽也基

この度、同窓会幹事を務めさせていただく、三年四組の三浦陽也基です！三年間の高校生活を糧に皆さんと楽しめるように頑張りますので、よろしく願います！

3年4組 佐山 翔子

この度、同窓会の幹事を務めます佐山翔子です。初めてですが精一杯頑張ります。よろしく願います。

会長として、この1年



生徒会長 石川 怜央

をつくり上げている姿に何度も心を動かされました。

生徒会活動を通して、私が大切にしてきたのは、生徒一人ひとりの思いや声に耳を傾けることです。学校をより良くしていくためには、日々の小さな気づきや積み重ねを大切にすることが必要だと感じていました。仲間と意見を交わしながら課題に向き合ってきた経験は、私にとって大きな学びとなっています。

その中で強く感じたのは、築館高校には人と人との繋がりを大切に、誰かのために行動できる温かさがあるということです。その支え合いが、新しい挑戦へ踏み出す力につながっているのだと思います。

先輩方が創り、繋いでこられた歴史や伝統は、私たちにとって大きな誇りです。しかし、それはただ受け継ぐだけのものではなく、今を過す私たちが、それぞれの思いを重ねながら、新たな伝統を創っていくものだと思います。

これからも仲間とのつながりを大切にしながら、私たちらしい歩みを重ね、築館高校の未来へ繋いでいきたいと思っています。

令和8年度
同窓会総会

期日 令和8年8月2日(日)
会場 エポカ21 TEL0228-23-0021

◎総会	10:00~
◎講演	10:40~
◎懇親会	12:00~

会費 3,000円

※旧築館高校・旧築館女子校とも同窓会が誕生し、(33歳迄)47年生まれ(43歳迄)57年生まれ(53歳迄)平成4年生まれ(55歳迄)の発行委員会事務局を予定しております。同年代の卒業生の方はぜひ参加してください。

宮城県築館高等学校

連絡先 TEL 0228(22)3126 FAX 0228(22)4104
ホームページ <https://tukiko.myswan.ed.jp/dousokai>
Eメール tukiko-dousokai@td.myswan.ed.jp

編集後記：時代が移り変わり、今や仙台は通勤・通学圏内になり、くりこま高原駅や高速バスの利用者は増えているようです。同窓会の仙台支部活動にも影響があり、“遠い仙台”では無くなり、集まる方々も先細りとなり、活動休止に追い込まれております。また、県庁同窓会も同様にコロナ禍をはさみ、いわゆる“飲み会”の激減と働き方改革により、先輩後輩の繋がりや時間の使い方に変化があるようです。そんな中ではございますが、卒業生4人が新たに県職員として、勤務されているとの情報がありました。